決議事項要約

国際理事会会議

オンライン会議

米国イリノイ州オークブルック

2020 年 10 月 12～21 日

監査委員会

- 外部監査：監査法人クロウ社より、2020 年 6 月 30 日を期末日とする年度の国際協会の監査および監査済み財務諸表の草案について説明を受けた。
- 内部監査の概要：委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視をおこなう。
- 内部監査リスク評価：委員会は内部監査リスク評価と 2020～2021 年度用に提案されている監査計画について最新報告を受けた。
- GDPR：委員会は、プロジェクト・マネジメント・オフィスとプライバシー及びコンプライアンス担当部署のスタッフより、一般データ保護規則（GDPR）のプロセスに関する最新報告を受けた。

会則及び付則委員会

- ベイルート・セントガブリエル・ライオンズクラブの不服申し立てに対し、会則関連抗議申し立て手順に従って下された考察及び調停委員会の最終的な裁定を支持し、抗議は全面的に却下されたものとみなした。ベイルート・セントガブリエル ライオンズクラブの抗議で具体的に提起された事項および関連事項はすべて終結し最終的なものとしてすべての当事者に対して拘束力を持つものと宣言した。
- 2020 年国際大会が中止になったことに起因して、ISAME からの候補者の推薦証明の有効期間を、現在の 3 回の大会から 4 回の大会に変更するよう求める、インド、南アジア、中東（ISAME）の元国際会長数名からの要請に対し、何の措置も講じないことを推奨した。中止となった 2020 年国際大会では、4 名の理事が選出されることになっていたが、2021 年の大会では、ISAME からの候補者のうち 2 名のみが選出されることなる。
- 理事会方針書第 15 章 D 項を改訂し、国際会費免除が発令された場合には、国際会費の支払いは、クラブがグッドスタンディングか否かの決定において考慮に入れられるべきはないとする、方針上の解釈を加えた。

- 2021 年国際大会に報告するために、国際付則第 2 条第 4 項（a）および第 5 項（a）を改正し、国際理事候補者推薦証明書の提出期限に関する規定を、30 日から 60 日へと変更する決議案を起草した。
- 国際大会が開催できない場合の国際理事会の選挙手順について検討した。その結果さらなる分析が必要であるとの合意により、モントリオールでの 2021 年国際大会で代議員の投票に付する可能性を含めて、本件を今後の理事会会議でさらに検討することを承認した。
- 2019年10月9日～12日付会則及び付則委員会報告書に含まれている会費改正に関する決議7を全文撤回した。
- 2021 年国際大会に報告するために、国際付則第 12 条第 2 項（a）を改正し、年会費を 3 年間かけて 7 ドル（増額開始年となる 2022 年 7 月 1 日より 3 ドル、2023 年 7 月 1 日より 2 ドル、2024 年 7 月 1 日より 2 ドル）増額する決議案を起草した。
- 2021年国際大会に報告するために、国際付則第4条第1項（i）を改正し、マーケティング・コミュニケーション委員会の名称をマーケティング委員会と改名する決議案を起草した。

大会委員会

- 2021 年国際大会のために任命される大会アポインティの日当を承認した。
- 2021 年国際大会におけるバーチャル大会の構成要素を承認した。

地区及びクラブ・サービス委員会

- アルメニア共和国のライオンズクラブを非常時ステータスクオに指定した。財務委員会が 2021 年 4 月の理事会会議中に、これらのクラブを特別非常時ステータスクオにすることを検討する。
- 300-C1 地区（300 複合地区 台湾）から提出された当該地域を 300-C1 地区と 300-C5 地区に再編成するという提案、そして 300-G2 地区（300 複合地区 台湾）から提出された当該地域を 300-B3 地区と 300-B5 地区に再編成するという提案を承認した。再編成は 2023 年国際大会の閉会時をもって実施される。300 複合地区の五つの複合地区再編成をさらに支持するため、これらの新地区と以前に承認済みの地区の配置が詳しく表示された最終的な地図を承認した。

- 324-A4 地区から提出された、当該地域を 324-A4 地区と 324-A7 地区に再編成し、2021 年国際大会の閉会時をもってこれを有効とするという提案を承認した。ただし、次回の複合地区大会にて代議員によって承認されることを条件とする。
- バーチャル会議に必要な物品配送の郵便料金や宅配料金を払戻しの対象として認め、会議を行う手段として Connect（ライオンズクラブ国際協会の無料プラットフォーム）を使用するよう地区ガバナーおよび暫定ゾーン/リジョン・チェアパーソンに奨励するため、地区ガバナーおよび暫定ゾーンおよびリジョン・チェアパーソンの経費払戻し方針を改定した。

財務及び本部運営委員会

- 赤字となる 2020～2021 年度第 1 四半期収支予想を承認した。
- 2020 年 12 月 31 日をもって将来のすべての従業員年金プラン積み立て（2007 年 1 月 1 日より前に雇用され、既得権条項が適用されている米国およびカナダの年金プラン加入者全員が対象）を停止すること、さらに、2021 年 1 月 1 日より貯蓄プランにおいて雇用主マッチング拠出給付を提供することを承認した。
- 2019 年 10 月の会費増額の決議を撤回し、国際会費増額に関して、2021 年国際大会で代議員投票に付する国際付則改正案の起草を会則及び付則委員会に要請した。
- 購買方針を調達方針に置換した。
- 理事会方針書第 21 章のスピーカー任務に関する方針を改定することにより、元国際理事が別の会則地域に永住した場合はスピーカー任務を引き受けられるようにした。

リーダーシップ開発委員会

- スタッフが各会則地域との相談で、2020～2021 年度にどの研究会を実施するかを決定し、現地コーディネーターを務めるライオンとの協力により、スタッフが遠隔で支援をおこなうというプロセスを承認した。
- 当初 2021 年 2 月に予定されていた 2021 年第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト（FVDG/DGE）セミナー1～3 日目の内容に代わる、2021 年 FVDG/DGE バーチャルセミナー代替プランを確認した。
- 理事会方針書を改正し、第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナー・アソシエイトの役割、責任、許容される経費払い戻しについての文言を加えた。

長期計画委員会（2020 年 8 月会議の報告）

- 次期地区ガバナー・チームが目指すべき次の二つの地区目標を加えた。「2021～2022 年度末までに、当地区はクラブによるアクティビティ報告率をアップする（前年度の報告率を維持あるいは上回る）」ならびに「2021～2022 年度の第 1 四半期が終わるまでに、当地区はクラブ役員およびゾーン・チェアパーソン対象の研修を実施する。地区 GLT コーディネーターは、協会のソフトウェアアプリケーション「Learn」内のローカル研修報告ツールを使ってすべての研修を報告する」
- 委員会は、LCI フォーワード戦略プランの次のバージョンの進捗状況を確認した。LCI プロジェクトチーム委員長のジョイス・ミドルトン元理事、プロジェクトチームのメンバー全員、そしてスタッフの尽力に感謝の意を表する。
- 世界的なパンデミックがライオンズの奉仕に与えている悪影響や、1 度に 7 ドルという会費増額が協会メンバーにもたらしうる財務負担を考慮に入れ、様々な財政的なシナリオを検討した上で、委員会は、財務及び本部運営委員会に対し、7 ドルの会費増額を 3 年かけて行う（3 ドル、2 ドル、2 ドル）ことを検討するとともに、この会費増額を 2021 年 7 月か 2022 年 7 月のいずれに発効させるべきかを決定するよう推奨する。

マーケティング・コミュニケーション委員会

- 新しい PR 補助金を承認するとともに、今年度交付された 11 件の補助金について進捗状況を確認した。
- 今年度のトーナメント・オブ・ローズ・パレードのスポンサーシップについて、計画の変更を確認し、承認した。
- ネパール語をライオンズクラブ国際協会の公式言語として加えるという 325 複合地区（ネパール）からの要請を検討した。委員会は、ネパールのライオンズに対し、ネパールでの努力、そしてこの検討対象となるための基準を満たしたことへの賛辞を贈る。委員会は、要請を承認する前に、コスト、資源、システム、プロセス等に関連する影響の評価を要請し、次回の理事会会議におけるこの議題の審議を要請した。
- プロトコールの改訂案を確認した。今後の会議で決議案の提出を検討する予定。
- 理事会方針書第 19 章のアワード一覧表の記載内容を改訂し、国際平和ポスターの楯を、国家元首、首相、知事、その他現地当局者に対する公式の表彰の品として採用した。

- 委員会の名称を「マーケティング・コミュニケーション委員会」から「マーケティング委員会」に変更する国際会則及び付則の変更を要請した。

会員増強委員会

- ライオネス・ブリッジブラムに変更を加え、会員増強委員会による別段の許可がない限り、地区が 1 会計年度に結成できるクラブの数を 10 までとした。
- 2021 年 7 月～2023 年 6 月の任期を務めるレオクラブ・プログラム諮問パネル構成員とその補欠を任命した。
- 目標に関して、地区ガバナーの目標から地区の目標に変えるために、理事会方針書第 24 章の文言を更新した。
- 機能横断型委員会会議が理事会会期中に開催される場合には、テクノロジー委員会が含まれるよう、理事会方針書第 24 章の文言を更新した。

奉仕事業委員会

- ライオンズクラブ国際協会ライオンズ・アイバンクのガイドライン改訂を決議した。
- 協会は、認識向上、啓発、変革を働きかけるライオンズに力を与えられるよう、ライオンズクラブ国際協会のアドボカシー・プログラムを承認した。
- すべての奉仕プログラムとグローバル重点分野の戦略開発に関する最新報告を受けた。
- 糖尿病と闘うための時間を作るようライオンズに呼びかける「世界糖尿病デー2020」キャンペーンの開始を祝した。
- 2020～2021 年度第 1 四半期の奉仕アクティビティ報告件数が前年度同期比で増加したことを認識した。

テクノロジー委員会

- 委員会は、第 1 四半期の予算見通しを検討し、予算と第 1 四半期の見通しとの間には、主に減価償却費の差異によるマイナスの差異があることを確認した。 委員会は、現在進行中の新型コロナウイルス大流行やその他の予期せぬ出来事が予算に影響を与えていることを理解しつつ、スタッフが積極的にこれを管理していることに感謝した。

- 委員会は、プライバシーに関する取り組みと一般データ保護規則（GDPR）に関する最新報告を受けた。 スタッフとデータ保護責任者（DPO）とのやりとりは極めて順調である。 委員会は、今後 3～6 カ月間に計画されているセキュリティとプライバシーの取り組みを承認する。
- 委員会は、プロダクトのイニシアチブについて包括的な議論をおこなった。 2020 年 7 月には新しい会員ポータルが、2020 年 8 月には新しい「Connect」アプリケーションがベータ版として提供され、バーチャルミーティング機能の利用が可能になった。 委員会は、現在第 2 四半期または第 3 四半期に計画されている、ライオン・アカウントのログイン／登録プロセスの再設計について説明を受けた。
- 委員会は、戦略計画の次段階についての最新報告を受けた。委員会は、同計画において特定された三つの主な焦点分野に合意するとともに、「One Lion」という新計画の名称およびブランディングを支持する。この計画に基づく目標と戦略の実施に参画できることを楽しみにしている。委員会は、ここまでの取り組みに当たってくださった、LCI フォーワード・プロジェクトチーム委員長のジョイス・ミドルトン元理事とチームの全員に感謝するとともに、次回の理事会会議での報告を楽しみにしている。
- 委員会は、実地での国際大会の実施に代わってバーチャル大会やハイブリッド大会の実施が必要となった場合のサポートのテクノロジーや運営面での影響について議論した。
- 委員会はまた、バーチャル選挙をサポートする場合の影響についても報告を受け、スタッフが提示した業者選定の徹底ぶりに満足した。 委員会は、バーチャル選挙が必要な場合には、検討中の業者のいずれを利用しても問題ないと判断した。
- 委員会は、会員増強委員会からの会員のバックデート（さかのぼって会員報告を行う慣習）に関する最新情報を検討した。 委員会はまた、ライオンズ学習センター（LLC）と地域研修報告ツールに関するリーダーシップ開発部からの最新情報について話し合った。
- 委員会は奉仕事業委員会と合同会議を開き、奉仕報告データの質を向上させるための計画を承認した。この計画に含まれているのは、ライオンズの調達資金・寄付額報告をしやすくするための、MyLion への通貨換算機能設置、調達資金・寄付金・ボタンティア時間のデータ異常に対する上限設定、プロダクト内コミュニケーション改善等。 この計画のいくつかの要素はすでに実施されている。
- 委員会は、e コマースとクラブ用品の現在の収益動向について話し合った。 委員会は、収入に影響を与える要因を理解し、支出を収入に合わせるためのスタッフの計画を承認した。 委員会はまた、いくつかの進行中のイニシアチブに関する最新報告を受けた。